団体・組織の概要

※太枠内、必須事項。その他は、該当する項目を記載してください。

団体/会社名	株式会社やまさき企画		
代表者	山崎節也	担当者	山崎節也
所在地	〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘一丁目18-3-6-405 TEL:090-4007-8543 FAX:050-3466-1252 E-mail: setsuya@yamasaki.ecweb.jp		
設立の経緯 ／沿革	<p>「世の中、難問山積」です。専門家だけに任せておけません。たとえば地球温暖化問題については、専門家が対策を考え、国民は「電気の節約」なのでしょうか？ 高齢者の福祉機器はどうでしょうか？もっと便利なものを、専門家ではなくても、また技術分野については素人であっても、解決手段を考え社会に提案することは有意義であると思います。</p> <p>これまで環境機器・福祉機器・生活用品など約30件の特許出願・実用新案登録などをしてまいりましたが、平成19年10月に株式会社やまさき企画を設立し、これらの商品化・実用化とともに、更に積極的に「世の中の山積する難問・課題」に取り組むことにより、微力ながら社会の発展に貢献してゆく所存であります。</p>		
団体の目的 ／事業概要	<p>事業目的 商品企画開発およびコンサルティング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康機器及び福祉介護用具の研究開発、商品企画 2. 省エネルギー機器その他環境機器の研究開発、商品企画 3. 日用雑貨の研究開発、商品企画 		
活動・事業実績 (企業の場合は 環境に関する 実績を記入)	<p>弊社は生活・福祉・環境分野において様々な企画開発を行っております。弊社のHP http://www.yamasaki.ecweb.jp をご参照願います。</p> <p>環境に関しては次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコ熟睡エアコン・・・エアコンのタイマー装置のエコ化 ・防犯エコ網戸・・・低炭素となり近所 ・エコロジー空港・・・航空機の排熱・排ガス利用 ・分別回収つまようじ ・駅前からの街並みづくり ・低炭素お風呂・・・和風お風呂と入浴法の再評価 ・スリッパ融合シューズ・・・靴底からクールビズ 		
ホームページ	http://www.yamasaki.ecweb.jp		
設立年月	2007年10月	*認証年月日(法人団体のみ) 2007年10月10日	
資本金/基本財産 (企業・財団)	500,000円	活動事業費/ 売上高(H20)	円
組織	<p>スタッフ/職員数 1名 (内専従 1名)</p> <p>個人会員 名 ; 法人会員 名 ; その他会員(賛助会員等) 名</p>		

政策のテーマ

低炭素となり近所（防犯エコロジー網戸）

- 政策の分野
 - ・持続可能な地域づくり
 - ・地球温暖化の防止
- 政策の手段
 - ・制度整備および改正
 - ・国民の参加促進

団体名：株式会社やまさき企画

担当者名：山崎節也

■キーワード	エコな生活と 安眠環境	ヒートアイラン ド対策	地域防犯対策	地域防災対策	地球温暖化防止
--------	----------------	----------------	--------	--------	---------

<p>① 政策の目的</p> <p>地域住民が、窓を大きく開けて網戸で生活し眠れる環境を提供すること。 これにより、地球温暖化対策、ヒートアイランド対策、地域防犯対策、地域防災対策など多面的に効果のあるエコロジーな（エアコンに頼らない）社会システムを実現すること。</p>
<p>② 背景および現状の問題点</p> <p>夏は、窓を大きく開けて網戸だけで寝るのが一番だと思います。コオロギや鈴虫などの虫の音があれば、健康で快適な睡眠環境です。しかし窓を開け網戸で寝ることは出来なくなっています。「無防備」なのです。安心して寝ることはできません。また隣家のエアコン室外機の騒音も気になります。そして就寝中のエアコンがヒートアイランド現象・熱帯夜の要因となっています。地域住民がエアコンをつけずに窓を大きく開けて網戸で生活できること、これが取り組むべき課題です。</p>
<p>③ 政策の概要</p> <p>従来の網戸では防犯上問題があります。そこで「防犯エコロジー網戸」です。</p> <p>（１）網戸の一部に微弱電流（ソーラ電池を網戸の枠に）を流し、これが断線する（ナイフで切られる等）と屋内の「電話の呼び出し音が鳴る」ことです。侵入者は、電話が鳴るだけ心臓が凍りつくはず。誤作動があっても、家の中の電話が鳴る音なので、夜中に隣近所が飛び起きることもありません。翌朝、お詫びに廻る必要もありません。</p> <p>（２）電話の呼び出し音が鳴るだけでなく、警察に「自動的に110番通報」されるものとします。つまり、異常が発生すると電話機が鳴り110番通報される。住民は電話に出て警察官と応答します。警察官は住民に対し、「電話を切らずに周辺を点検するよう」に指示し、安全が確認されるまで電話を切らない。もし電話が鳴り続けるだけで、住民が出ない場合には緊急事態発生です。パトカーが現地に急行する。 この機能は、窓やドアにも使えます。鍵を無理に開けようとすると電話が鳴る。警察に自動的に電話がかかる。</p> <p>これで、「低炭素となり近所」です。地域住民は、エアコンを使わず安心して網戸で自然の心地よさの中で熟睡することができます。皆が窓を開けて寝ているので、不審な物音にも気付いてくれます。地域防犯対策・防災対策にも有効です。ヒートアイランド現象は軽減され、地球温暖化対策にも大きな効果があるはず。低炭素社会の実現は、まず身近な「低炭素となり近所」からです。</p>

④ 政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

「低炭素となり近所」

窓を大きく開けて網戸で生活できる環境

信頼できる防犯機能を有する網戸などを導入・普及させる。これは、異常発生において、室内の電話機が鳴るとともに、自動的に110番通報されるものである。

本政策は、地域住民がエアコンに頼らずに窓を開けて網戸で就寝できること、また昼間でも風通しのよい生活環境（エコ生活）を実現するとともに、地域防犯対策、地域防災対策にも資するものである。

これにより、

「エコ生活」・・・窓を大きく開けて生活でき、エアコンに頼らず、自然の心地よさの中で安眠できる。つまり健康的であり、またヒートアイランド・地球温暖化対策としても有効である。

「地域防犯対策」・・・地域住民が網戸で生活することにより、不審な物音にも気付くことができ、地域の防犯対策として有効である。また警察への信頼が高まる。

「地域防災対策」・・・火災などの初期の段階で地域住民が気づき、消防へ通報が行われるものと期待できる。

「独居老人」「家庭内暴力」などの対策としても有効である。

⑤ 政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

実施主体については未定ですが、警察および自治体などの協力が得られることが必要条件となると考えます。

⑥ 政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

「低炭素となり近所」により、エアコンに頼らない生活を提供できると考えます。広く国民に啓発し普及させてゆくことにより、地域のヒートアイランド現象は軽減されるとともに、地球温暖化対策にも大きな効果が見込まれます。

防犯上の問題により窓を閉め切り施錠し、エアコンに頼る生活では、エネルギー消費量は増大し、室外機からの熱風は地域のヒートアイランド現象の一因となり、これが更にエアコンへの依存度を高めるというスパイラルとなっていると考えられます。

このスパイラルを断ち切る効果が期待できると考えます。そして地域住民は、地球温暖化対策としての効果を体感することが出来るはずです。

⑦ その他・特記事項

本政策は、警察の協力が得られることが必要条件であり、警察にとっては防犯装置の誤作動などによる110番通報が発生するなど負担となるものであるが、地域防犯対策として有効であり、また環境対策など様々な効果を有するものとして協力が得られるのではないかと考えます。